



24. 文化財保護章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
(1)	文化財保護法に規定する「文化財」の意味を知り、それを保護する必要について説明すること。	口述または記述		
(2)	自分の地域内（市町村）で国・都道府県及び市町村によって指定されている文化財を歴史博物館・美術館等実際に調べ、その概要について説明すること。	資料（リスト）の提出および口述		
(3)	次の4つの内から1つを選び、それができること。 ア 有形文化財 （ア）建造物、絵画、彫刻、工芸品のいずれかの部門を選び、自分の県内におけるその部門の国宝・重要文化財・登録文化財を実地調査し、レポートを提出する。 イ 史跡 （ア）自分の地域内における史跡をいくつか訪問し、それに関する史実を調べて、それぞれの時代に与えた影響についてレポートを提出する。 ウ 天然記念物 （ア）特別天然記念物の名称5つをあげ、それについて説明する。 （イ）自分の県内における国の天然記念物の名称をあげ、その所在地、特徴などについて説明する。 （ウ）天然記念物の保護について、自分の地域内または県内の天然記念物の保護を目的とするポスターを作成し、適当な場所に展示して啓発を促す。 エ 埋蔵文化財 （ア）縄文・弥生・古墳各時代の土器及び縄文・弥生各時代の石器の特徴についてレポートを提出する。 （イ）古墳時代各期の特徴と古墳各部の名称をまとめて、説明する。	報告書の提出 口述または記述		
(4)	地形図等を参考に昔と今の違いをまとめレポートを提出する。	報告書（含む案内書）の提出		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 _____ 印